

令和2年4月20日

保護者各位

上市町教育委員会

感染症への心構えについて（第17報）

約100年前の第1次世界大戦時において、感染症（スペイン風邪）が世界に拡がり、多くの方が亡くなりました。戦時中ということもあり、なかなか情報も正確に伝わらず、収束に、約1年余りを要したということです。

ワクチンや治療法の開発にも時間がかかったと思いますが、現在、感染拡大している感染症についても、有効なワクチンなどの開発はまだであり、また、ワクチンが変異することもないわけではありません。

加えて、一端収束したかに見えても、人間の活動が盛んになれば、ウイルスにとっても有利な条件になるようです。

何度か感染拡大の波がくることが考えられることを踏まえると、令和2年度は、1年間を通して、変化の多い、大変な1年であり、また、ひたすら、行動を慎む必要があると思われまます。

従って、これまで学校で子どもたちが集まり、様々な活動を通して行われてきた、教育活動についても、命を守るということの前には、無力であると言わざるを得ません。

今後、ひたすら続く、人との関わりを自粛することを続けることが重要です。皆さんと共に、学校が再開できる日がくることを待ちたいと思います。